

## 新聞記事ニュース

### ●固定金庫が早業止める！連続盗難で明暗（河北新報）

福島、宮城両県で7月、スーパーや家電販売店に忍び込み、売上金を金庫ごと盗み出す犯罪が相次いでいる。どれも重さ数百キロの大型金庫を10分以内で運び去るという早業。未遂に食い止めたケースもあるが、「明暗」を分けたのは金庫の固定の有無だった。

### ●1100万入り金庫、マンションから盗難-名古屋（読売新聞）

30日午前1時頃、名古屋市内の飲食店経営者から、金庫が盗まれた、と110番があった。警察の調べでは、マンション3階の自宅に仕事から戻ったところ、施錠してあった玄関ドアが開けられ、室内から金庫がなくなっていた。金庫には売上金など現金約1100万円と貴金属が入っていた。

### ●スーパーで3千万円入り大型金庫盗難-新潟小出（読売新聞）

29日午前1時頃、新潟県小出町のスーパーの警報装置が作動、警官が12分後に駆け付けたところ事務所のドアが壊されており、売上金など約3000万円の入った大型金庫-重さ300kgがなくなっていた。周到な手口から、複数犯による計画的な犯行とみている。

### ●埼玉でもスーパーの金庫盗難2件、被害計950万円（読売新聞）

29日午前2時頃、埼玉県新座市のスーパーで警報装置が作動し、警備会社からの通報で警察官が駆け付けると、同店1階の窓ガラスが割られ、事務所内にあった売上金など現金約800万円入りの大型金庫が盗まれていた。

また、同日午前4時ごろ、越谷市のスーパーでも警報装置が作動。警官が駆け付けると、2階建て同店舗の2階事務所の窓ガラスが割られ、事務所内にあった売上金など現金約150万円入りの金庫が盗まれていた。

### ●久慈市漁協久喜支所の大型金庫が破られる（毎日新聞）

24日午前8時ごろ、保管中の現金約300万円が入った手提げ金庫がなくなっているのを、出勤した職員が発見し、久慈署に被害届を出した。同署は窃盗容疑で捜査を始めた。

同署によると、金庫は1階事務室に置かれていた。高さ約1・6メートルで、厚さ10センチ以上の扉が電動工具のようなもので切断されていた。支所の職員が帰宅した23日午後6時ごろ以降、和室の窓から鍵近くのガラスを切り取って侵入したらしい。複数犯とみて捜査を進めている。【

### ●スーパーの金庫から620万円盗まれる。約5分間で金庫の扉をこじ開け（京都新聞）

午前5時、滋賀県内のスーパーで警報機が作動し警備会社から警察に110番通報が入った。警察官が約5分後に駆け付けると、物品搬入用シャッターがこじ開けられ、事務室の据置き金庫から売上金約620万円がなくなっていた。

こじ開けられた金庫は重さ約50キロで、ボルトで床に固定されていたが、扉がバールのような物でこじ開けられていた。